



図書便り (6月号)

令和元年(2019年)6月25日発行

文責 山瀬

～期末考査です～

6月9日(日)に行われた定通体育大会では、5名の生徒が県の代表として全国大会に出場することが決定しました。全国大会は8月に行われるため、これからも熱の入った練習が続きます。さて、中間考査から一か月が経過し、期末考査の時期となりました。生徒の皆さんは、定通体育大会の熱が冷めやらぬままに、勉強やアルバイトに取り組んでいますね。蒸し暑い時期でもあります。体調管理にはしっかりと気をつけてください。

❀ 図書案内 ❀

勉強やアルバイトの合間に本はいかがですか。今回は映画化された、あるいはこれから映画化される作品について紹介します。

『パラレルワールド・ラブストーリー』

東野 圭吾 (著)

「本当の過去」を取り戻すため、「記憶」と「真実」のはざまを辿る敦賀崇史。錯綜する世界の向こうに潜む闇、一つの疑問が、さらなる謎を生む。意表をつく展開、ついに解き明かされる驚愕の真実とは!?傑作長編ミステリー。何度も読み返したくなる作品。



『駅までの道をおしえて』

伊集院 静 (著)

愛犬の死を信じられずにいる少女が見つけた、時間から取り残されたような古い喫茶店。店の老人がくれた写真には野球のユニフォーム姿の少年が写っていた。大切な相手を失い、悲しみにくれる人々に訪れた奇跡を描いた表題作をはじめ、かけがえのない時間に出逢える作品集。



『人間失格』

太宰 治 (著)

東北の名家に生まれた容姿端麗・成績優秀な青年が自らの“生涯”を語る。「恥の多い生涯を送ってきました」—こぶしを固く握った子供、美しい学生、表情のない白髪混じりの男の奇怪な写真と共に渡された手記には、その壮絶な半生が克明に描かれていた。何度も映像化された珠玉の作品。



『蜜蜂と遠雷』

恩田 陸 (著)

3年ごとに開催される芳ヶ江国際ピアノコンクール。「ここを制した者は世界最高峰の国際ピアノコンクールで優勝する」というジンクスがあり近年、覇者である新たな才能の出現は音楽界の事件となっていた。数多くの天才たちが繰り広げる競争という名の自らの闘い。第1次から第3次予選そして本選を勝ち抜き優勝するのは誰なのか?



